

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス めだかのいえ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 7日		令和7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 7日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスめだかのいえは、社会福祉法人めだかすとりいむが運営しているため、社会福祉法人めだかすとりいむの施設が利用できること。また、共催の行事に参加する機会があること。	夏休みは、社会福祉法人めだかすとりいむの広い畑の土地を利用してプールをしたり、収穫時にはじゃがいも掘りをしたりしている。	子供達に、日頃体験できないようなことを放課後等デイサービスの活動を通して体験してもらえるように取り組んでいる。
2	日頃から子供の状況を保護者に伝え、話し合うよう心掛けている。子供の発達の状況や課題について共通理解を持つようになっている。	連絡帳を活用したり、送迎時に話をしたりすること。必要に応じ、その日のうちに電話連絡をして共通理解を図るように活動している。共通理解を深めるために、保護者との定期面談を実施している。	活動中の子供たちの様子を画像に残し、保護者に見ていただくように、月に一回『月刊めだか』というカラープリントの通信を各家庭に配布している。
3	保護者の方達の勉強会を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設けている。また、兄弟同士で交流する機会を設けるなどの取り組みをしている。		

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室のスペースは十分にあるが、年々子供達の体も大きくなってきており、以前よりは広々とは使えなくなってきたと感じることがある。	放課後等デイサービスめだかのいえでの屋内での過ごし方の工夫が必要なのではないかと考える。	自由遊びについては、工夫した空間の使い方を考え、子どもたちが自由に楽しく過ごせるように考えていく。
2	バリアフリー化について(バリアフリー化が適切になされているか?)	広い一軒家を使用しているため、バリアフリー化が進んでいない現状がある。	現在利用しているお子さんについては、バリアフリーの必要性が低いですが、今後受け入れるお子さんについて必要な場合には、都度説明が必要だと考えている。
3			